



市民活動の新たな挑戦

いろいろな悩みや不安、難題を抱える人たちを支え、問題解決に積極的に取り組む市民活動は各地ですそ野を広げている。ファイザー製薬ではヘルスケアの分野の市民活動を支援し、その社会的認知を高めることを目的に、2000年から助成プログラムをスタートさせた。過去の実績にとらわれずに、活動のユニークさと将来性に評価の重点を置いているのが特徴。2001年度の助成対象となった各プロジェクト(左頁参照)を中心に、9回連続(今回は最終回)でレポートする。



「これからはNPOの時代です」と市役所職員から理事長に転身した吉田浩巳さん(写真右)と、「言葉や診察中のプライバシーの問題など解決しなければならぬことはたくさんあります」と語る西川さん(写真左)



センターを訪れたペルー人親子。スペイン語を話す日本人スタッフと6月に受けた健康診断のことや日常的な相談をしている(写真上)。

在住外国人が安心して医療サービスを受けられる体制づくりをすすめる

社団法人まちづくり国際交流センター

日本在住外国人のための医療支援事業(奈良県)

サッカーW杯チニジアチームのキャンプ地となった奈良県橿原市。人口12万5千人のうち約1%にあたる1千70人(01年12月現在)の外国人が在住している。ペルー、ブラジル、中国、ベトナム、アフガニスタン、オーストラリアなど国籍もさまざま。

「医療支援事業」は当事者である在住外国人のほか、医師、看護師、ボランティアが集まり、言葉や文化の違いによって満足のいく医療サービスを受けにくい在住外国人に病院紹介や通訳派遣、健康相談などの支援をめざして今年1月にスタートした。

まず手はじめに行われたのが、在住外国人、医療機関へのアンケート調査

「アンケートの結果、言葉や文化の違いによる問題や医療機関の対応のむずかしさなどがわかりました。しかし、これによって大病院をはじめ病院医師とのつながりもでき、私どものプロジェクトに対する理解も深まりました」と、今後の協力関係に期待する。

6月には、健康診断を実施。ペルー、ブラジル、中国など14名の在住外国人が受診した。「健康診断はここ何年も

受けていないという人がほとんど。年に1回、定期的に受診できれば病気の早期発見もできるし、結果に応じて生活指導もできる。市の健診を説明の文字が読めない、手順がわからないといった理由で受診していない人たちのケアを図り、利用しやすくすれば費用の面でも効率的にできます」と、西川さんは今後の対応について語る。

また準備段階だが、在住外国人への情報をまとめた病院マップや各国語での部位の説明をした人体マップ、診察でよく使われる言葉を内科、外科など診療科別に翻訳したものなど、実際に役立つ情報を提供することも考えている。

西川さんは「いずれにしても、どうPRをしていくかがポイント。在住外国人はもちろん医療関係者など多くの人にこのプロジェクトについて知ってもらいたい」と話している。

演劇を通して子供たちのホッペを 引き出し、命の大切さと想像力を高める

みはらおやこ劇場

10代の生と性を考えるドラマスクール in 三原(広島県)

**2001年度
助成対象プロジェクトの
団体名・活動内容・
主な活動地域**

新規助成

1	札幌市ホームレス者の健康支援と実態調査 北海道のホームレス者の健康支援を行う医師・医学生会の会(札幌市)
2	障害児・者とその家族のための生活支援サービス促進事業 サポート・ハウスぱお(埼玉県蓮田市)
3	暴力被害女性支援「自然派レストラン・喫茶Saya-Saya」事業 地域生活支援ネットワーク女性ネットSaya-Saya(東京都荒川区)
4	薬物依存症の青少年のためのデイケア事業 特定非営利活動法人セルフ・サポート研究所(東京都江東区)
5	障害児・者に対するダンスワークショップ 特定非営利活動法人ポーロウニア協会(東京都江東区)
6	DV被害女性及び同伴子の緊急一時保護事業 FTCシェルター(東京都)
7	ひきこもりサポートプロジェクト 日本アクトルドルメン協会(JACA)(東京都世田谷区)
8	山山介護支援事業 特定非営利活動法人自立支援センターふさとの会(東京都台東区)
9	思春期の自立と精神保健を育むピアサポート事業 ティーンズポスト(東京都町田市)
10	不登校の子どものための六浦共同生活舎生活体験合宿 特定非営利活動法人コンパスアカデミー(神奈川県横浜府)
11	横浜寿町「さなぎの家」 なんでもSOS班 特定非営利活動法人さなぎ達(神奈川県横浜府)
12	障害者の地域生活を支える民間レスパイト事業 コンビニの会(愛知県名古屋府)
13	釜ヶ崎地域における「終わりなき」生活支援事業 木曜夜まわりの会(大阪府大阪府)
14	拘置所に収監中の薬物依存者へのインタベンション・プログラム フリーダム(大阪府大阪府)
15	日本在住外国人のための医療支援事業 社団法人まちづくり国際交流センター(奈良県橿原府)
16	不登校の子どもの健康と体力づくりを考える 神戸フリースクール(兵庫県神戸府)
17	高機能広汎性発達障害の子どものサポート事業 岡山県高機能広汎性発達障害児・者の親の会(岡山県岡山市)
18	10代の生と性を考える ドラマスクールin三原 みはらおやこ劇場(広島県三原府)

継続助成

19	ショッピングセンターの機能を生かした福祉サービス 特定非営利活動法人自立支援センターアフィティ(青森県上北郡下田町)
20	チャイルドライン千葉 「子ども電話」 特定非営利活動法人子ども劇場千葉県センター(千葉県千葉府)
21	川崎ホームレス保健プロジェクト 「冬を生きぬき、春を呼びこめ」 川崎水曜/土曜の会(神奈川県川崎府)
22	中等教育を補う「コミュニティ・スクール」の実現をめざして 特定非営利活動法人リベラビューマンサポート(静岡県三島府)
23	不登校児童・生徒の支援に係わるセミナー開催事業 特定非営利活動法人フレンジャー(兵庫県西宮府)
24	精神障害者のための「ついで」事業の普及充実活動 障害者を持ちながらも自立と納得いく社会参加を目指すふれあいセンター(沖縄県那覇府)



「今はただ演劇をやりたい、役者になりたいという思いで来ているが、これから役を与えられ、それを公演までどのようにならぬか、演じていくかというプレッシャーでどんどん追いつめられていくはず。そこにホンネが出てくる」と、ドラマスクール参加者募集のオーディションで指導する大多和氏(写真上)と台本を読み、即興で演じる子供たち



「今ただ演劇をやりたい、役者になりたいという思いで来ているが、これから役を与えられ、それを公演までどのようにならぬか、演じていくかというプレッシャーでどんどん追いつめられていくはず。そこにホンネが出てくる」と、ドラマスクール参加者募集のオーディションで指導する大多和氏(写真上)と台本を読み、即興で演じる子供たち

「今ただ演劇をやりたい、役者になりたいという思いで来ているが、これから役を与えられ、それを公演までどのようにならぬか、演じていくかというプレッシャーでどんどん追いつめられていくはず。そこにホンネが出てくる」と、ドラマスクール参加者募集のオーディションで指導する大多和氏(写真上)と台本を読み、即興で演じる子供たち

「今ただ演劇をやりたい、役者になりたいという思いで来ているが、これから役を与えられ、それを公演までどのようにならぬか、演じていくかというプレッシャーでどんどん追いつめられていくはず。そこにホンネが出てくる」と、ドラマスクール参加者募集のオーディションで指導する大多和氏(写真上)と台本を読み、即興で演じる子供たち

「今ただ演劇をやりたい、役者になりたいという思いで来ているが、これから役を与えられ、それを公演までどのようにならぬか、演じていくかというプレッシャーでどんどん追いつめられていくはず。そこにホンネが出てくる」と、ドラマスクール参加者募集のオーディションで指導する大多和氏(写真上)と台本を読み、即興で演じる子供たち

「今ただ演劇をやりたい、役者になりたいという思いで来ているが、これから役を与えられ、それを公演までどのようにならぬか、演じていくかというプレッシャーでどんどん追いつめられていくはず。そこにホンネが出てくる」と、ドラマスクール参加者募集のオーディションで指導する大多和氏(写真上)と台本を読み、即興で演じる子供たち

「今ただ演劇をやりたい、役者になりたいという思いで来ているが、これから役を与えられ、それを公演までどのようにならぬか、演じていくかというプレッシャーでどんどん追いつめられていくはず。そこにホンネが出てくる」と、ドラマスクール参加者募集のオーディションで指導する大多和氏(写真上)と台本を読み、即興で演じる子供たち

「今ただ演劇をやりたい、役者になりたいという思いで来ているが、これから役を与えられ、それを公演までどのようにならぬか、演じていくかというプレッシャーでどんどん追いつめられていくはず。そこにホンネが出てくる」と、ドラマスクール参加者募集のオーディションで指導する大多和氏(写真上)と台本を読み、即興で演じる子供たち

**【ファイザープログラム】
心とからだのヘルスケアに関する市民活動支援
2002年度 募集要項**

1. 募集期間: 2002年7月1日～8月13日
2. 助成金: 1件あたり300万円を上限とし、本年度は15件程度の助成を予定しています
3. 助成の期間: 2003年1月1日～12月31日(1年間)とします
4. 対象となる分野: 特に次のようなプロジェクトを重視します。
 - 1) 成長過程にある人たちの心身のすこやかな発達を支援する活動
→ おもに10代が抱える問題を克服し生き生き喜びをもつことを助けるもの
 - 2) 社会的な受け皿がないために保健・医療を受けられない人たちの心身のケアを支援する活動
→ 外国人、路上生活者、PTSD(心的外傷後ストレス障害)などの人々を対象とするもの
 - 3) 障害をもつ人や療養にある人たちの充実した生き方を支援する活動
→ 身体障害、知的障害、精神障害などの人々、難病、長期療養にある人たちの社会生活を豊かにするもの
5. 問い合わせ先: ファイザー・製薬株式会社 企業文化部 03-3344-7524
応募要項はホームページからダウンロードできます <http://www.pfizer.co.jp>

「今ただ演劇をやりたい、役者になりたいという思いで来ているが、これから役を与えられ、それを公演までどのようにならぬか、演じていくかというプレッシャーでどんどん追いつめられていくはず。そこにホンネが出てくる」と、ドラマスクール参加者募集のオーディションで指導する大多和氏(写真上)と台本を読み、即興で演じる子供たち